

注3

大学番号：私478

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

神戸薬科大学大学院 薬学研究科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 神戸薬科大学
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局 総務課

職名・氏名 課長補佐 フジツカサヒロ 藤塚雅弘

電話番号 078-453-0031

（夜間） 078-441-7502

F A X 078-441-7502

e-mail soumu@kobepharma-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	5
3 施設・設備の整備状況、経費	8
4 既設大学等の状況	9
5 教員組織の状況	10
6 留意事項に対する履行状況等	19
7 その他全般的事項	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 神戸薬科大学

(2) 大学名

神戸薬科大学

(3) 大学の位置

〒658-8558

兵庫県神戸市東灘区本山北町4丁目19番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ササベ ショウゴ) 雀部昌吾 (平成18年6月1日)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(タナハシ タカオ) 棚橋孝雄 (平成19年4月1日)		
研究科長	(タナハシ タカオ) 棚橋孝雄 (平成19年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)
平成23年度に報告する内容 → (23)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬科学専攻(修士課程) 修士(薬科学)	年 2	人 5	人 10	基礎となる学部なし 14条特例の実施

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成21年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 人 () []	人 人 () []	5人 人 () []	人 人 () []	5人 人 () []	人 人 () []	0.8 倍	
志願者数	() []	() []	6 (4) []	() []	4 (2) []	() []		
受験者数	() []	() []	6 (4) []	() []	4 (2) []	() []		
合格者数	() []	() []	6 (4) []	() []	4 (2) []	() []		
B 入学者数	() []	() []	6 (4) []	() []	2 (2) []	() []		
入学定員超過率 B/A			1.2		0.4			

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[—]	[]	6	[]	[—]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[—]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]	[]	[]
計	[]	[]			[—]	[]	6	[—]	[]

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)	計 [—] 0	(累積)計 [—] 6	0%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<神戸薬科大学大学院 薬学研究科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎専門選択科目	天然物化学特論	1・2前 2後 未開講		1		1			1			
	植物医薬品化学特論	1・2後		1		1			1			平成24年後期に開講(23) 履修希望者がいなかったため(23) 兼2 西山由美講師を採用 (H23. 8)
	創薬科学特論	1・2後		1		1			1			
	医薬品合成化学特論	1・2前		1		1	1					
	創薬物理化学特論	1・2前		1		1 0 1			1			担当の高藤博幸教授が辞任したが、非常勤講師として採用(22) 兼2 向高弘教授を採用 高藤博幸非常勤講師は任期満了(23)
	機能性分子材料化学特論	1・2後		1		1				0		
	バイオメディカル分析科学特論	1・2後		1		1				1		小山淳子准教授(届出時は講師)異動により 担当教員1名減(22)
	衛生薬学特論	1・2後		1		1	0 2		2 1			兼4 津川尚子講師が、昇任により 准教授になった(22) 昇任により、教員追加 担当竹内敦子(准教授)(22)
	生命科学特論	1・2前		1		1			2			
	製剤学特論	1・2前		1		1	1					兼2 本来昨年度に記載する ものが、報告漏れのため今回 記載した 寺岡麗子講師が、昇任により 准教授になり担当となった(23)
	臨床検査医学特論	1・2前		1		1	1	1	1			
	病態生理学特論	1・2前		1		1 2			1			兼3 1講座1特論制に整備して、 水野成人教授を担当外とした(22) 兼4 よりきめ細かい指導のために 八木敬子講師を増やした(23)
	医薬品作用学特論	1・2前		1		1			2			
	薬物動態学特論	1・2前		1		1			1			兼3 よりきめ細かい指導のために 上田久美子講師を増やした(23)
	情報評価学特論演習	1・2前		1				1 2				兼2 よりきめ細かい指導のために 木口敏子准教授を増やした(23)
	医療倫理学特論	1・2前		1								
臨床医学各論, 内科系	1・2後		1									
臨床医学各論, 外科系	1・2後		1									
ファーマシューティカルケア特論	1・2後		1									

分野別専門選択科目	医療実務研修特論Ⅰ	1・2前	1								
	医療実務研修特論Ⅱ	1・2通	1								
	論文作成特論	1・2通	2			5 -4					兼7 よりきめ細かい指導のために 北川裕之教授を増やした(22)
	医薬品臨床開発特論	1・2通	1								
	医療薬科学演習Ⅰ	1・2通	1								
	医療薬科学演習Ⅱ	1・2後	1			2		1			兼3 本来届出時に記載する ものが、報告漏れのため今回 記載した
	抗加齢医学概論	1・2前	1			1					
必修科目	薬科学演習	1通	4								
	薬科学課題研究Ⅰ	1通	9								
	薬科学課題研究Ⅱ	2通	9								

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
3科目	26科目	0科目	29科目	科目	科目	科目	科目	変更なし
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部校舎敷地と別地 (12,835㎡ 車45分) 平成22年10月新キャン パス購入に伴い変更。 運動用地間違い訂正。 (23)			
	校舎敷地	42,250㎡ 36,005㎡	㎡	㎡	42,250㎡ 36,005㎡				
	運動場用地	18,132㎡ 18,182㎡	㎡	㎡	18,132㎡ 18,182㎡				
	小 計	60,382㎡ 54,187㎡	㎡	㎡	60,382㎡ 54,187㎡				
	そ の 他	36,257㎡ 7,689㎡	㎡	㎡	36,257㎡ 7,689㎡				
	合 計	96,639㎡ 61,876㎡	㎡	㎡	96,639㎡ 61,876㎡				
(2) 校 舎	専 用	39,252㎡ 33,182㎡	㎡	㎡	39,252㎡ 33,182㎡	平成22年10月新キャン パス購入に伴い変更。 (23)			
	(39,252㎡ 33,182㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(39,252㎡ 33,182㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	36室 26室	演 習 室 7室 6室	実験実習室 14室 13室	情報処理学習施設 3室 (補助職員 2人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	平成22年10月新キャン パス購入に伴い変更。 (23) 大学全体		
	新設学部等の名称 薬学研究科 薬科学専攻				室 数 45 41		平成23年3月 専任教授室を増設に伴 い変更 (23)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	平成23年5月1日現在の 調査により、数値が確 定したため変更 (23)	
		薬学研究科薬科 学専攻	564 [332] 544 [316]	3,240 [3,235] 3,000 [2,995]	2,675 2,590	47 40	0		
		(553 [322])	(3,030 [3,026]) (3,169 [3,152])	2,602 (2,575)	(40)	(0)			
	計	564 [332] 544 [316]	3,240 [3,235] 3,000 [2,995]	2,675 2,590	47 40	0			
	(553 [322])	(3,030 [3,026]) (3,169 [3,152])	2,602 (2,575)	(40)	(0)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,291㎡		288		118,667				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	1,757㎡		テニスコート2面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	1年次は入学金を含 めた (23)	
		教員1人当り研究費等	700千円	700千円	図書購入費	300千円	300千円		300千円
	共 同 研 究 費 等	24,000千円	24,000千円	設備購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		650千円 500千円	500千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	神戸薬科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	平成22年より 学生募集停止
	年	人	年次人	人		倍			
薬学部 薬学科	6	270	該当なし	1,620	学士（薬学）	1.07	平成18	兵庫県神戸市 東灘区本山北町 4-19-1	
薬学研究科 修士課程									
薬科学専攻	2	5	該当なし	10	修士（薬科学）	0.8	平成22		
薬学専攻	2	—	該当なし	—	修士（薬学）		昭和42		
医療薬科学専攻	2	—	該当なし	—	修士（薬学）		平成14		
博士後期課程 薬学専攻	3	6	該当なし	18	博士（薬学）	0.44	昭和54		
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 （専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科 薬科学専攻>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学長)	棚橋 孝雄	平成22年4月	天然物化学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						
専	教授	岡野 登志夫	平成22年4月	衛生薬学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						
専	教授	守安 正恭	平成22年4月	天然薬物科学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						
専	教授	岩川 精吾	平成22年4月	薬物動態学特論 隔年 医療薬科学演習 II 隔年 論文作成特論 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						
専	教授	太田 光照	平成22年4月	臨床検査医学特論 隔年 論文作成特論 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						
専	教授	吉野 伸	平成22年4月	医薬品作用学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						
専	教授	小林 典裕	平成22年4月	バイオメディカル 分析科学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						
専	教授	和田 昭盛	平成22年4月	医薬品合成化学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						
専	教授	中山 尋量	平成22年4月	機能性分子材料化学 特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						
専	教授	北川 裕之	平成22年4月	生命科学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II				平成22年4月	論文作成特論	よりきめ細かい指導のため、担当者を追加(22)

専	教授	斎藤 博幸	平成22年4月	創薬物理化学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II	兼任	講師				薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II 創薬物理化学特論 隔年	平成22年3月退職により辞任 平成22年4月より非常勤講師として採用。 非常勤講師となり、「薬科学演習」「薬科学課題研究 I」「薬科学課題研究 II」は、福橋孝雄研究科長が担当(22) 平成23年4月向高弘教授採用により平成23年3月任期満了(23)
専	教授	北河 修治	平成22年4月	製剤学特論 隔年 論文作成特論 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	教授	水野 成人	平成22年4月	病態生理学特論 隔年 抗加齢医学概論 隔年 論文作成特論 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						病態生理学特論 隔年	1講座1特論制に整備して、 授業担当者から外した。(22)
専	教授	宮田 興子	平成22年4月	創薬科学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	教授	江本 憲昭	平成22年4月	医療薬科学演習 II 隔年 病態生理学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	准教授	小林 吉晴	平成22年4月	臨床検査医学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	准教授	長嶺 幸子	平成22年4月	情報評価学特論演習 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							平成23年3月退職により辞任。 「情報評価学特論演習」を平成23年4月より非常勤講師として授業を担当。他の担当科目を中山専量教授が担当(23)
専	准教授	山野 由美子	平成22年4月	医薬品合成化学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	講師	上垣内みよ子	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II	平成23年3月学内異動により辞任。 すべての担当科目を向高弘教授、田中将史講師が担当(23)
専	講師	小山 淳子	平成22年4月	バイオメディカル分析科学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II						バイオメディカル分析科学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II	平成22年3月学内異動により辞任。 すべての担当科目について、小林典裕教授が担当(22)
専	講師	竹内 敦子	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II		准教授		平成22年4月	衛生薬学特論		平成22年4月昇任 そのため、新たに「衛生薬学特論」の担当者となった。(22)
専	講師	寺岡 麗子	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II		准教授		平成22年4月	製剤学特論		平成22年4月昇任 そのため、新たに「製剤学特論」の担当者となった。(22)

専	講師	津川 尚子	平成22年4月	衛生薬学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							平成22年4月昇任 (22)
専	講師	多河 典子	平成22年4月	臨床検査医学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	講師	竹仲 由希子	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	講師	八木 敬子	平成22年4月	医療薬科学演習 II 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II					病態生理学特論		よりきめ細かい指導のため、担当者を追加 (23)
専	講師	上田 久美子	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II					薬物動態学特論		よりきめ細かい指導のため、担当者を追加 (23)
専	講師	三上 雅久	平成22年4月	生命科学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	講師	八巻 耕也	平成22年4月	医薬品作用学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	講師	西村 克己	平成22年4月	天然物化学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	講師	中川 公恵	平成22年4月	衛生薬学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	講師	灘中 里美	平成22年4月	生命科学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	講師	水谷 暢明	平成22年4月	医薬品作用学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	講師	三木 生也	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							
専	講師	田中 将史	平成22年4月	創薬物理化学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II							

専	講師	上田 昌史	平成22年4月	創薬科学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II					
専	助教	森田 真也	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II	講師		平成22年4月	製剤学特論 薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II	平成22年4月昇任 そのため、新たに「製剤学特論」 の担当者となった。(22) 平成23年3月退職により辞任 すべ ての担当科目を北河修治教授、寺 岡麗子准教授が担当(23)
専	助教	林 亜紀	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II					
専	助教	前田 秀子	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II					
専	助教	沖津 貴志	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II					
専	助教	都出 千里	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II	講師				平成23年4月 昇任 (23)
専	助教	士反 伸和	平成22年4月	薬科学演習 薬科学課題研究 I 薬科学課題研究 II					
兼任	教授	杉山 正敏	平成22年4月	薬物動態学特論 隔年					
兼任	准教授	松家 次朗	平成22年4月	医療倫理学特論 隔年					
兼任	講師	富井 啓介	平成22年4月	臨床医学各論、内 科系					
兼任	講師	高橋 隆幸	平成22年4月	臨床医学各論、内 科系					
兼任	講師	石原 隆	平成22年4月	臨床医学各論、内 科系					
兼任	講師	猪熊 哲朗	平成22年4月	臨床医学各論、内 科系					

兼任	講師	藤井 秀孝	平成22年4月	臨床医学各論、内科系						
兼任	講師	古川 裕	平成22年4月	臨床医学各論、内科系						
兼任	講師	幸原 伸夫	平成22年4月	臨床医学各論、内科系						
兼任	講師	鈴木 隆夫	平成22年4月	臨床医学各論、内科系						
兼任	講師	春田 恒和	平成22年4月	臨床医学各論、内科系						
兼任	講師	岡田 行功	平成22年4月	臨床医学各論、外科系						
兼任	講師	川那辺 圭一	平成22年4月	臨床医学各論、外科系						
兼任	講師	川喜田 睦司	平成22年4月	臨床医学各論、外科系						
兼任	講師	北 正人	平成22年4月	臨床医学各論、外科系						
兼任	講師	栗本 康夫	平成22年4月	臨床医学各論、外科系						
兼任	講師	細谷 亮	平成22年4月	臨床医学各論、外科系						
兼任	講師	山崎 和夫	平成22年4月	臨床医学各論、外科系						
兼任	講師	沼田 千賀子	平成22年4月	ファーマシューティカルケア特論 隔年		教授				平成22年4月 本学教授として採用 (22)

兼任	講師	西田 英之	平成22年4月	ファーマシュー ティカルケア特論 隔年						
兼任	講師	室井 延之	平成22年4月	ファーマシュー ティカルケア特論 隔年						
兼任	講師	西口 工司	平成22年4月	ファーマシュー ティカルケア特論 隔年						
兼任	講師	韓 秀妃	平成22年4月	ファーマシュー ティカルケア特論 隔年						
兼任	講師	内布 敦子	平成22年4月	医療実務研修特論 II 隔年						
兼任	講師	野並 葉子	平成22年4月	医療実務研修特論 II 隔年						
兼任	講師	水谷 信子	平成22年4月	医療実務研修特論 II 隔年						
兼任	講師	片田 範子	平成22年4月	医療実務研修特論 II 隔年						
兼任	講師	近澤 範子	平成22年4月	医療実務研修特論 II 隔年						
兼任	講師	工藤 美子	平成22年4月	医療実務研修特論 II 隔年						
兼任	講師	南 博信	平成22年4月	病態生理学特論 隔年						
兼任	講師	FOONG FOO WAH	平成22年4月	論文作成特論					論文作成特論	平成22年5月他大学教授に採用され 辞任後任者として山元二郎講師を採用 (23)
兼任	講師	土居 由有子	平成22年4月	医療薬科学演習 I 隔年						

兼任	講師	革島 定雄	平成22年4月	医療薬科学演習 I 隔年						
兼任	講師	吉田 賢士	平成22年4月	医療薬科学演習 I 隔年						
兼任	講師	橋田 亨	平成22年4月	医療実務研修特論 II 隔年						
兼任	講師	中島 和江	平成22年4月	医療実務研修特論 II 隔年						
兼任	講師	高橋 京子	平成22年4月	医療実務研修特論 II 隔年						
兼任	講師	山田 秀和	平成22年4月	抗加齢医学概論 隔年						
兼任	講師	内藤 裕二	平成22年4月	抗加齢医学概論 隔年						
兼任	講師	榎本 博雄	平成22年4月	医薬品臨床開発特 論 隔年						
兼任	講師	中江 裕子	平成22年4月	医薬品臨床開発特 論 隔年		教授				平成22年4月 本学連携特任教授として採用 (22)
兼任	講師	小林 正史	平成22年4月	医薬品臨床開発特 論 隔年						
兼任	講師	平井 みどり	平成22年4月	病態生理学特論 隔年						
兼任	講師	柳澤 振一郎	平成22年4月	論文作成特論						
					兼任	講師	木口 敏子	平成23年4月	情報評価学特論	よりきめ細かい指導のため、担当 者を追加 (23)

					専 准教授	小西 守周	平成22年4月		平成23年度から新規科目を受け持つ予定(22) 平成24年度から新規科目を受け持つこととなった(23)
					専 助教	藤波 綾	平成22年4月	薬科学課題研究Ⅱ 薬科学演習 薬科学課題研究Ⅰ	昇任により担当教員となった(22) 昨年度から「薬科学演習」「薬科学課題研究Ⅰ」の担当となったが、報告が漏れていた(23)
					専 教授	向 高弘	平成23年4月	創薬物理化学特論 隔年 薬科学演習 薬科学課題研究Ⅰ 薬科学課題研究Ⅱ	採用により担当教員となった(23)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画				変更状況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
17	24	41	0	21	19	40	0	
(17)	(25)	(42)	0	[4]	[Δ5]	[Δ1]	[0]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	上垣内 みよ子	平成23年3月31日付学内異動により辞任。
2	講師	森田 真也	平成23年3月31日付退職し、他大学へ転任。
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上垣内みよ子講師の異動に関しては、向 高弘教授の採用により担当していたすべての科目を引き継ぐため支障はないと考えている。また、森田真也助教の退職については、講座主任の北河修治教授及び寺岡麗子講師が引き続きすべての科目を担当するため支障はないと考えている。なお、学生への周知については、大学広報誌で告知している。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入し

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年5月)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

＜神戸薬科大学大学院 薬学研究科＞

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし。	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院FD実施委員会については、今年度中に設置予定。 ・ 大学院FD実施委員会設置の準備段階として、新しい4年制博士課程設置に向けたワーキンググループ会議を設置、実質的なFD取組検討の場として機能し、その案を大学院教授会で審議している。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院FD実施委員会設置後に開催予定。 ・ 博士課程設置に向けたワーキンググループ会議を9回開催した。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院FD実施委員会設置後に具体的な活動及び取り組み内容について話し合う予定。 ・ 博士課程設置に向けたワーキンググループ会議において新しい4年制博士課程教育プログラムを審議している。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 博士課程設置に向けたワーキンググループの会議において、新しい4年制博士課程教育プログラムを審議。 2. 神戸大学との連携協定に基づきFD・SDワーキンググループを設置し、米国における薬学教育についてのFD研修会を実施。 3. 授業評価アンケートを実施し、結果をフィードバックし、授業内容や授業方法のブラッシュアップに効果的に反映させた。 <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい4年制博士課程教育プログラムを審議。 2. 講演会を開催。 3. 授業評価アンケートを各科目の最終講義で配布、提出（大学院生の他、科目等履修生、聴講生にも実施）。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5名の大学院教員、4名の事務職員（教務、総務）が参加し、9回開催した。 2. 平成22年9月14日に、FD活動の一環として米国の医師、薬剤師である臨床教員を招聘し、米国における薬学教育についての講演会及び意見交換会を実施した。これに100名近くの教員が参加した。 3. アンケートを実施した科目数は12、教員数は40人であった。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 引き続き博士課程設置に向けたワーキンググループ会議において授業改善について討議していく。 2. 今後もFDに関する講演会を開催する。 3. 授業評価アンケートを新しい博士課程設置の資料としている。
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

神戸薬科大学は、薬科学専攻設置の趣旨の一つに、今日まで積み上げてきた創薬科学研究の知識と技術に、薬学部以外の他学部出身者が習得した専門知識を融合させ、幅広い知見と技能に裏づけされた創薬科学研究を国際的に展開できる薬学研究者の養成をめざし、探究心と想像力にあふれた学生を求めることとしている。初年度は、入学定員5名に対し、入学者は6名（受験者、合格者とも6名）であり、そのうち3名が他学部出身という結果であった。本年度は受験者、合格者ともに4名であり、その後の入学手続も完了していたが、家庭の都合によりやむなく2名が辞退し、入学者は2名となった。引き続き入学者の確保に向け、広報活動に努力していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成24年8月1日（公表予定）

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書（DVD）を作成し、薬系及び関係大学へ発送する
- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・2008（平成20）年に財団法人大学基準協会より大学評価並びに認証評価を受け、2009（平成21）年4月1日付で大学基準に適合しているとの認定を受けた。（認定期間は2016（平成28）年3月31日）また、平成24年7月に中間報告書を提出することになっており、その際に当該の大学院修士課程の事項を含め、自己点検・評価を行う計画を立てている。

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年6月1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス (http://www. 未定)

- (注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。